

△産業宣教：237 と第 1, 2, 3, RUTC の答え 24

私の産業現場 - 創 1:27-28

□序論_90% 衣食住 / 10% -影響- 霊性
約 90%の産業人は衣食住に縛られている。10%の人々はそれを越えて影響を及ぼしているが、霊的な力がとても強い。

1. 3 団体-世界を掌握した 3 団体
1) 創 3:4-5、6:4-5、11:1-8 神様を離れているが、ネフィリム運動、パベルの塔運動したこと
2) 文化 3) 経済
2. 福音を持った 霊的な力がある産業人
1) 創 6:14 箱舟を造ったノア
2) 創 14:14-20 家の兵を養ってソドムの王に勝ったアブラハム
3) 出 3:1-10 牧畜業を大きくしながらもとても影響を与えたイテロ長老
4) I 歴 29:10-14 世界に影響を与える神殿を作ったダビデ
5) I 列 18:1-15 アハブ王も動かして、エリヤも助けるほど霊的力があつたオバデヤ
6) ダニ 1:8-9 出世を重要視しない力があつたダニエル
7) ロマ 16:1-27 福音を持った霊的な力の他には世の中を生かせないと考えた人々

△福音の中にある霊的な力を持って勉強して事業しなさい

3. 初代教会→持続-初代教会以降に、この力が持続しなかった理由

□本論

1. 絶対みことば(みことば-創造)

- 1) 創 1:1 みことばで世の中創造
2) 創 1:3 みことばで暗やみを打ち砕かれた
3) 創 1:4-13 みことばにすべてを創造
△私に臨む絶対みことばがつながって行ってこそ持続する。

2. 絶対祈り-御座の力を味わう祈り

支配する祝福-与えられた
福音の中にある霊的な力を確認して持続するために礼拝をささげに行くのだ。それでこそ、私一人でも祈りとなる。する力がないので確認して信じれば良い。

- 1) 創 1:27 われわれのかたちとして人を創造された。
2) 創 1:28 征服して、支配せよ。
3) 創 2:7 いのちの息を吹き込んだ。

3. 絶対福音-福音の中にある無限の神様の力(福音の力)を実際の状況で味わうこと

- 1) 創 3:15 握ったノア、アブラハム、イサク、ヤコブ、ヨセフ
2) 創 6:14 箱舟-ネフィリム時代のとき、絶対福音を握った
3) 創 12:1-3 故郷、親戚、父の家を出てわたしがあなたに示す地に行きなさい

□結論_神様の力がなければならぬ理由

1. わざわい 2. 分裂 3. 教会閉鎖
△結局は、この力(序論 2)がなければ、すべてが損となる。

△核心：第 1, 2, 3RUTC の答え 24

10 の奥義 - 皆を生かす使命(創 37:1-11)

福音	Problems	伝道
最高、最善、最大		
編集(みことば、本)、設計(祈り)、デザイン(作品)		

- 問題を福音、伝道のみで見れば正解が見える。
■最高に目標を合わせて受け入れ、超越。最悪を変えて最善のことを考え。最大に基準を置く
■みことばと本で編集、祈りで設計、現場を見て作品を作るデザイン

□序論_ Nobody, Nothing RU をする理由

- Nobody -多くの人々が周囲にいれば、神様のことを見られないようになる。
■ Nothing -世の中にあるものがたくさんあれば、神様のことを見られない。

1. 強大国に起こる 霊的わざわい-生き残って世界福音化するには、この祝福(表)をあらかじめ味わうべき
2. ネフィリム大学、タウン、ロッジ(精神疾患者)
3. 伝道者-理論 X、状況 X -すべての理論と状況を飛び越える伝道者を作りなさい

□本論

1. 強大国- RU 運動

- 1) 奴隷時代 2) 捕虜時代 3) 属国時代
福音を持っている少数の人が受けたわざわざい時代を生かす答え -既成世代、現場指導者が知らないことを、あらかじめ知ったこと

2. 敵、過ちを犯す者、悪い者-みな生かすことが RU 運動
1) 創 37:1-11 初めからこの夢を持っていたので皆を生かした。
2) I サム 16:1-13 ダビデは会う人を皆、生かした。
3) 使 19:21、23:11、27:24 強大国を置いて契約を悟った人を用いられた神様
3. 変える運動- RU 運動する理由は世の中を変えること
1) 創 50:20-21 悪を善に変えること
2) I 歴 29:10-14 文化-神殿を作ってイスラエルの全体文化を変えたダビデ
3) 使 27:10-25 ローマに行く前にローマを変えたパウロ

□結論

1. レムナント(残りの者、残る者、残れる者、残す者)-レムナントがどんなことばなのかを分かる者
1) 根-キリスト 2) 切り株-何十年間、伝道運動をした牧師
3) 新しい芽-レムナント運動
2. ただ-ただキリスト、ただ神の国、ただ聖霊になった人を用いられる
3. 超 Elite -皆を生かす超一流、超エリートに RU に立てられる
△RU 運動を置いてこの祈り(表)が始まらなければならぬ。この答えを持っているレムナントが RU に出てき始めれば、この答えを持っている人々が 237 か国から出始める。そのとき、暗やみは完全に崩れる。

△レムナント伝道学：伝道者の生活と第 1, 2, 3RUTC の答え 24
10 の土台- 神の神殿(I コリ 3:16)

- 序論_聖霊が私の中に
1. 聖霊の働き(再創造)-聖霊の働きによってだけ私を変える再創造の働きが起こる
2. 聖霊の力(聖霊の満ち)-私の中に聖霊の力が臨むことが聖霊の満ちた。
3. 聖霊の実(証拠-証人)-この聖霊の実は証拠として結ばれる。これを逃してはならない。

神様に対する実-愛、喜び、平安
人に対する実-寛容、親切、善意
自身に対する実-誠実、柔和、自制

□本論

1. 救いの働き-いちばん最初に起こる。
1) 創 1:27 (ピリ 2:6、ヨハ 10:30)
2) 創 2:7 3) 創 3:15
三位一体の神様でこそ救い主、人となって来られてこそ、人を救うことができる。このことが三位一体の理由だ。
2. 約束
1) ヨハ 14:16 2) ヨハ 14:26 3) ヨハ 16:13
4) ヨハ 20:22 5) 使 1:8
3. 力(上から与えられる力)
1) ヨハ 1:12 上から与えられる神の子どもとなる特権をくださった。
2) ヨハ 1:14 「みことばが人となって」神様が人のからだを着てこられた。
3) I コリ 3:16 私たちは何でもないが、神様の聖霊が私の中におられるので神殿だ。

□結論

1. プラットフォーム(すべて-祝福)
2. 見張り場(すべて-生かす)
3. アンテナ(持続)

△散らされた弟子たち/237、5000 を生かす第 1, 2, 3RUTC の答え 24
70 人弟子の始まり(マタ 28:16-20)

□序論
プラットフォーム、見張り場(台)、アンテナ
何のプラットフォームであるかが重要なこと。これに伴って光を放つ見張り場(台)になる。神様と疎通できることがアンテナ別の動機 心配することは別の動機 正しい動機(常識以上) 正しい動機を持っていけばプラットフォーム、見張り場、アンテナが作られる。いつもで常識以上であるべき

□本論

1. 永遠のこと 復活メッセージ
御座
御座、キリスト、三位一体の神様の永遠のこを見つかる動機を持つべき
2. 神様のこと
わたしについて来なさい、お望みの者、カルバリの丘・オリブ山・マルコの屋上の間

神様が与えられたことだけ握ればできる
準備を神様がしておかれたこと

3. 変えてあげること
動機、傷、文化、霊的問題
動機、傷、文化、霊的問題を変える動機を持つべき
1) ステパノ 2) パウロ
3) 弟子の出会い動機を変えた二人だけ出たら終わる
4) 聖霊の導き このときから聖霊が完全に導き
5) 背景 そしてピリ 3 章の背景が出てくる

□結論_目 X

1. 目に見えない答え
2. 目に見えないいやし
3. 目に見えない力
これがみな目に見えない力なので、散らされた弟子たちは必ずこのようにしてこそ世界を生かす。

△区域メッセージ 初代教会伝道運動時代と(使2章)私の24(使1:1-14)	△聖日1部礼拝/RU 主日 寂しい所へ(マコ1:35-39)	△聖日2部礼拝/レムナントサミット委員会教師献身礼拝 私たちが召された理由(マコ3:13-15)
<p>△初代教会に起こった伝道運動は、完全に福音運動、世界福音化運動だった。それ以降に起こった宗教改革時代も政治的に起こり、おもに教理を回復したのだ。それなら、教会は何であり、私たちはどんな答えを受けなければならないのか</p> <p>使1:1 キリスト-「イエスは苦しみを受けた後」復活されたキリストを正しく知ることが教会だ。</p> <p>使1:3 神の国(御座)-「四十日の間、神の国のことを語り」神の国のことが成り立って、御座の祝福を味わうことが礼拝で、教会だ。</p> <p>使1:8 聖霊(力)-「しかし(ただ)聖霊で満たされれば力を受ける」上から与えられる力を受けて地の果てまで証人になることが教会だ。</p> <p>□序論_状況 キリストをあかしかできないように圧迫して、法で定めた状況であっても、世界福音化した。それが「使1:1キリスト、使1:3御座、使1:8聖霊」の力だ。</p> <p>□本論_パウロとペテロ、初代教会がしたことを見なさい。</p> <p>1. 持った者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 始まり(キリスト)-創3:15ただキリストで、奴隷であったとき出3:18奥義、ヨハ19:30イエス様が直接「完了した」これで始めなさい。 2) 味わい(御国)-「神の国」を持っている人は味わうことができる 3) 結論(証人)-神の国を持っている人は結論が出たのだ。「しかし(ただ)聖霊の力で地の果てまで証人となる」という聖書とイエス様の約束だ。ただ福音を伝える教会であることが間違いないならば、地の果てまで証人となる。損得を問い、ねたましく思うのは、間違っているのだ。 <p>2. あらかじめ時刻表</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 24-完全に答えを持っていてこそ24となる。 2) 25-超越、25は御座の祝福。神様の答えで超越できるのだ。 3) 永遠-ロマ16:25-27、永遠のことで、世々にわたる前からあったことが永遠まで臨む。 <p>3. 教会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 5時刻表-「五旬節の日になって」、「そのときに」「この日に」「毎日」こういうことばが出てくる。 2) 5つの門-そのときごとに5つの大きな門が開いたのだ。これが初代教会に現れた証拠だ。 3) 5つの力-そのときに、5つの大きな力が現れ始め、嵐のような炎のような聖霊の働きが起こる <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世々にわたって長い間隠されていた。 2. いま、隠されていたことが現れた。 3. とこしえまで隠されたことを神様が与えられた。これが初代教会だ 	<p>△どんな理論も、教会運動も成功したことがない。福音を持っている残りの者(レムナント)だけが変わることができる。それゆえ、RLS、RGS、RTS、RU 作ったが、このために祈る日</p> <p>△最悪の状況の中でイエスが与えられた勝利のみことば(属国、異端の濡れ衣、世論化)</p> <p>□序論_キリストにあって三つの発見(まことの答えを受ける)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 祈り発見(重要でないことをする教会)-私が祈りができるならば教会の試みになること、大人たちの間違い、事件が関係なくなって、答えを受けるならば、みな生かせる 2. 現場発見(100%サタンに捕えられて悪霊のお使い)-答えがマコ1:39「悪霊を追い出された」 3. 二つの権威発見-サタンに勝つ権威、祈りと礼拝するとき、天の軍隊を動かす権威 <p>□本論_三つの特別な権威を与えられた神様</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. すべての暗やみに勝つ神の子どもの権威を与えられた(ヨハ1:12)-身分的権威 <ol style="list-style-type: none"> 1) マコ3:15 悪霊を追い出す権威を与えよう(召された理由) 2) ルカ10:19 サタン勝つ権威を与えられた(70人が現場から帰ってきたとき) 3) マタ28:16-20、マコ16:15-20 天と地といっさいの権威を持つとともに、働き 4) 使16:16-18 イエスの御名によってひとつの町を生かす権威を使用(パウロ) 5) 使12:1-25 主の使いを送ってヘロデ王を打たれ、ペテロの救い(教会の困難に重職者が祈ったとき) 2. イエスが私たちに権威を委任 <ol style="list-style-type: none"> 1) 世の中がいやすことができない病気(ツアラト患者)いやし、悪霊を追い出されたイエス様(マコ1:39-42) 2) この権威を私たちに委任 3) 信じて祈りなさい。私が願う時間に来ないだけであって、必ず答えられる 3. 世界を生かす祈る権威を与えられた <ol style="list-style-type: none"> 1) この権威を持っている力がある人が出てくれば、人を生かすことができて世界が変化 2) イエスが明け方未明に祈り(マコ1:35)-夜明けに起きて祈って、準備して、権威を使うべき。RTは早く起きてあらかじめ終わらせる習慣が必要 3) 復活して祈りに対する驚くべき祝福を与えられた(マタ28:16-20、使1:8)-待ちなさい=祈りなさい <p>□結論_寂しい所(祈りの中)に入りなさい(RT7人)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 助ける人がいない極限の孤独の中で、祈りの中に入ったヨセフ 2. 追われて祈りの中に入って答えを受けたダビデ 3. 夜明けに祈られたイエス様-私たちは言うまでもない。 4. 困難に遭ったとき、ワンネスになって祈りの中に(初代教会の重職者)-マルコの屋上の間教会、アンテオケ教会、ロマ16章の人物誕生△寂しい所に入りなさい。霊的働きは絶対に止められることなく必ず勝利 	<p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原因-今でも続いている。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 私の考え(創3:4-5)-私の考えで生きていく。これを知ってサタンが神様の大きい祝福を奪い取ろうと、あなたが重要だと話した。 2) 私たちの(創6:5-4)-ネフィリムになったのだ。捕えられてしまったのだ。 3) 成功(創11:1-8)-バベルの塔運動だ。 2. 解決策-神様が与えられた。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 創3:15 女の子孫が蛇の頭を踏み砕く。 2) 創6:14、18、20 あなたと子孫が生き残るために箱舟を造りなさい。 3) 創12:1-3 あなたは、カルデヤ、故郷、親戚、父の家から出なさい。わたしがあなたに示す地に行きなさい。 3. 神様のみことば(祈り、礼拝)-ついて行きなさい。 <p>Trinity(三位一体の神様)-目に見えないようにあなたとともに Throne(御座)-御座の祝福とともに Ages(3時代)-あなたのすべての過去、今日、未来を生かす。</p> <p>□本論_理由</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. お望みの者(みなさん)を呼ばれた理由-マタ13:11-13 <ol style="list-style-type: none"> 1) 残りの者-捨てられた者のように見えるが残りの者 2) 巡礼者-散らされた者のように見えるが巡礼者 3) 征服者-旅人のように見えるが征服者 2. とともにの理由-身近に置き <ol style="list-style-type: none"> 1) 御座のプラットフォーム(刻印)-御座の力がプラットフォームになるように刻印させること 2) 光の見張り台(根)-変わらないように光を放つ見張り台が根をおろすように 3) 疎通できるアンテナ(体質)-霊的に通じるアンテナが体質になるように 3. 伝道の理由-また、遣わして福音を宣べさせ <ol style="list-style-type: none"> 1) 237 いやし 2) 偶像国家 3) 偶像文化 4) 霊的な病気 5) RT-サミットに 4. 権威の理由-悪霊を追い出す権威を持たせるためであった <ol style="list-style-type: none"> 1) サタン文化-全世界掌握 <ol style="list-style-type: none"> (1) 3団体 (2) 作品を作り出している。 2) 100%-悪霊文化 3) 精神病時代 5. 私たちの理由 <ol style="list-style-type: none"> 1) 暗やみとの戦争-光を持っているので戦うのは簡単だ。 2) 霊的病気との戦争-いやし権威が主にあるので必ず勝つ。 3) 次世代問題-違うもの-全世界の次世代が捨てられている。次世代が神様の力を全く知らずに損する違うものでぎっしり埋まっている。私たちの次世代が教会にきて霊的に力を得なければならない。 <p>□結論_RT7人の特徴</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 福音(契約)-完全に答えが出た。死んでも大丈夫なほど価値を持っていた。 2. 現実(答え)-現実にもまったくだまされなかった。答えを受けて生かした。 3. 最高、最善、最大-最高に行った。最悪から最善に、最大に育てなさい。